

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年12月23日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年12月23日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【サブドレン浄化設備「β線モニタシステム(B)異常」警報の発生について】 免震重要棟集中監視室にて、サブドレン浄化設備「β線モニタシステム(B)異常」警報の発生を確認。 現場盤にてβ線モニタシステム(B)に関わる設備を確認したところ、「サンプルタンク内液位 高」警報の発生を確認。 現場調査の結果、サブドレン浄化設備サンプルタンク内の液位を検出し、サンプルポンプを起動させる目的で設置されている液位検出器の動作不良によりサンプルポンプが起動せず、サンプルタンク内の水位が上昇し、警報発生に至ったものと推定。 今後、当該液位検出器の点検および動作確認を実施予定。</p>	GⅢ	12月19日